

春合宿 [西口班]

機械工学科 3年

↑こんな名前だっけ?

高橋 俊充

メンバー： 金井均，志波邦男，西口正文，山口晋二，ボク

まずは ナイトラン

今回の合宿は、まず、ナイトランから始まった。長崎駅に12:00
全員集合して始められた合宿ではあった。その晩、長崎の夜景
を一望できる稲佐山へのナイトランがそれである。3月22日、
季節は春と言えども、夜はまだまだ寒い。道は狭く、全くの暗
闇、そして急勾配という悪条件の中を5人は走って行くのでし
た。やっとのことで頂上へ着くと、さらに寒さは強まり、夜景
もそこそこに逃げるように下山した。下りは風をうけて、い
っそう寒く、急勾配のためスピードは出るし、まっ暗で先は見
えぬというスリルとサスペンスに満ちた最高の気分だった。

九州は日本の領土？

島原から船で三角へ渡り、天草玉橋の第一を渡りしばらく走
ると後ろが采女。ということでもの道端で地図を見るが
ら待っていると、家の中から1人の老人が現われ「~~~~~」と
言って家へ引込み、「君だ、あれは？」と思っていると、今度は
眼鏡(もちろん老眼鏡)を持ってやってきたのでした。そして、

「~~~~~,~~~~~」と言ったわけ。たぶん日本語だとは思っているが、意味がとれないままに、さようなら と存ったのでした。

きょうは楽しき キャンピング

天草五橋を5つとも渡り終わり、天草上島に侵入した我々は初めてのキャンピングをすることにした。松島の町から東へ2,3km入った海岸沿いのキャンプ場だった。そこへ着いた時は、確かにお日さまは高々と笑っていた。ところが、今合宿最初のキャンプ、そして夏から長い間やっていないということで、事がうまく進まず、なんやかんやとやっている間にお日さまは低くうす笑うようになってきた。しかし、まだ、食事ができていない。参考までにメニューは焼肉。それが敗因と存った。カレー等と違って、作り存がらの食事のため、暗闇には非常に弱い。それでも、何か得体の知れない物を焼けたかどうかも、わからずに一応、食べ終わった。その時、同場所にテニパッていた岡山大学サイクリング部は食事を終了して、ラジオ存んぞを聞き存がら くつろいでいたのでした。キャンピングでは、早く寝てはいけ存い、早く起きてはいけ存い、という我クラブルールによって、その日も遅くまで起きていた。翌朝、起きた時には、当然のごとく岡山大学サイクリング部は見え存く存っていたのでした。

九州は人情いっぱい、思いやりたくさん

天草下島はミケ所でテンパった。牛深と今回全部の班が通った宮岡だ。これは宮岡で起きた事件だ。宮岡城址公園(ヤヤマの上にあって、ながめは最高)にテンパった我々は、今日は外食にすることにしました。そこで、ご存じの方も多めのフェリー乗り場近くの店(そうです、ハンバーグの安かったあの店ですよ)へ食卓に行き、テントへ戻った時です。金井がテントの中を見て突然、すごい騒ぎ方だ。「オイ、オイ、ちょっと来てみるよ」という意味のことを叫んだ。この時の騒ぎ方は本当に言葉では表現できない。残りの4人も恐る恐るテントの中をのぞき込んだ。この時の4人の考えは同じだった。(テントの中に何かが居るのだらう。ゲジゲジか、ムカデか、はたまたアリの大群か)すると、ナナ、なんと、そこには、折り詰め+カステラ+お菓子が、ちょこんと置いてあるのです。それには手紙が付いていて、「余り物ですが、どうぞ食べて下さい。楽しい旅行ができますように。あすなる学園、給食部」と書いてあったのです。これには、本当にみんな感激した。なかには涙を流す者さえ、さすがにりなかつた。

そして、次の日、昼食はパンということになり、店でパンを買ったのだが食べる所がない。道端で食べるのも、なんだし、としばらく走って小学校を発見。春休み中だから、かまわれないだ

ろうと グランド(運動場とも言います)の隅の方で、おとなしく
食べていると、教官室の窓がガラッと開いて何やら手招きして
いるのだ。怒られたら素直に出て行こうと覚悟して近寄ると、
「お茶でも飲まんかねえ」というわけで、お茶を頂いたのでし
た。まだまだ 物わがりのよい先生も いるもんだなア~~~~。
(ついでに個人ごとで恐縮ですが、ここの鉄棒で例によって蹴上
かりをやろうとしたのだが、存ん と できなく存っていたのです。
確か去年の春合宿、足摺岬の小学校では、できたのに。これ程、
悔しかったことはありません。)

次の事件は ^{いずみ}出水から ^{みまぐろ}大口へ向かう峠の上で起きた。全員、何
とか峠へたどり着き、あとは下るだけとくつろいでいた所へ
ノ台のトラックが止まった。車から降りたその若い男は ツカ
ツカと近づいて来ると、「大変だ存あ、頑張れよ」と言うときか
んを手渡して、カッコよく去っていくのであった。

以上、3件のアツタカイ お話を述べた。何かと言うと、他人
は信用してはいけなるとか 他人は他人、かてにやらせてる、
という考え方が広まっている昨今だけど、こういった人間も
いるということ、ほっとしたような気がした。我々クラブ員も
このような、思いやりのある心の広い人間をめざしてほしいと
思う 今日 今のごろです。

船は出て行く 煙は残るに奪るか？

牛深では、港を見下ろす丘の上の公園(その名も港が見える丘公園ではありません)にテントを張った。翌朝 8:20 発の船に乗り予定だったが、朝食の途中で船が港に入って来るのが見えた。さあ、それからが大変だ。急いで片付けてテントをたたんで、荷物を詰めると、港までダッシュ！ 全力で走ったかいあって、港には 8 時ジャストに到着。その時、船はすでに出港の合図をしていた。少し出港を遅らせて我々は乗船することができた。それは、8:00 発に変更になっていた船だった。

あ~~~~あ、本当によかったネ

天は我々をどうしたのでしょうねエ

それは栗野(地図で投して下さい)から えびのYH までのでき事である。午後から雨になるという天気予報だったため、少し早く走って、(それでも途中、えびの市内の駅で暇をつぶしながら) けっこう急いで行ったのだが、それでも、間に合わなかった。麓の小林に着く前に雨は本格的に降り出し、そこからえびのYH まで登りだ。その時の雨は本当にバケツを引、繰り返したといふか、風呂の底が抜けたといふか、すごい騒ぎだった。雨粒は大きく顔に当たって痛い、道は川になり水がジャンジャン流れてくる。登りはきつく、全力で走るため足はきれてくる、

かと言って雨やどりする所も無いし、たとえ、あっても、当分、
やみそうにないので、早く着くために、**全力疾走!** でも
全然、遅くない。それを何分か続けた結果、やっとこせでYH
に着いた。格好は汚い濡れネズミだった。全身ビショビショ、
当然、中までビショビショ、靴は逆にするとジャー、くつ下を
しばるとジャー、全くすごいもんでしたヨ、雨の中を走って、
何かおもしろいかと言って、これほど、完璧にビショ濡れだど
かえって おもしろい。(とは、後からの感想であって、その時の
騒ぎようだったとありませんよ) 翌日も風雨ともに強くYHか
ら脱出できず、連泊と存るのだ。連泊にもいろいろあるが、今
回の連泊間の自転車の移動距離：0.0 cm という快記録を作
ってしまった。全く、天気の野郎、オレたちをどうしようと言
うのだ。

そして、翌日、やった! 晴れたゾ。絶好のサイクリング日よ
りだ。元気よく走り、ついでに^{たぐん}鞆岳(1700m)に登山、そこま
では絶好調だったのだが、誰のせりか知らないが突然の雨。急
いで下山する途中、道で存いよう存所を通りながらも無事に自
転車にたどり着いた。ところで、あの時 自転車にリュックを
干しておいたのは誰でしたっけネ。

やったぜ 東南西北

指宿の先に西大山という無人駅(信濃線の西小山と似ているが全然違う)がある。それは国鉄最南端の駅なのだ。他の2つの班も近くまで行きたがる。ここへは寄らなかつた、という我班。自慢の1つである。みんな知っているように最北端は稚内駅である。(ここは終点であるため、その付近へ行った人は必ず見ている)最東端は根室本線の終点。根室ではなくて、その1つ手前の東根室。北海道夏合宿でこの2駅(東根室は見のがしてしまつた)の付近まで行き、東と北をおさえておいて、今回の南で、3つそろつたのでした。ところが驚いたことに、雀士山口君は合宿前ソロフリーランで、見事に西(長崎県の平戸口駅)もしっかりとおさえていたのだ。1年間に東南西北を全部おさえたというのは、すごい事ではないだろうか。(ただし、東と西は見逃がしたのか イマイチ弱い)我クラブも全国的やのう~~~~。

さて、全国的に広がり、各地にその触手を伸ばしつつある。我クラブの今後や、いかに。同じクラブの班とすれ違つても、気付かずに、通り過ぎて行ってしまうような後輩に期待するしかないのだろうか。頑張れ サイクリング部

頑張れ 青春 !!

おわり

日本地図のページ

いくら道が狭くても広くても 瀬田駅
 しているし車か来て ペンションになりましょ
 の意。ワキは運転で 車にぶつかる人が
 います。よく注意して走って下さい

ネアタでハネるかほ大いに
 結構。でも 恐いのは
 車にハネられるのと 共通費
 のペンハネと親のハネ満ア

中央部には大変お世話に
 なっております。今度はウラに
 も 行ってみましょ。ご褒めは
 少なくとも 消費です。

なぞか おん利もて存い所
 です。広島の支店はつぶれ
 ましたか 米子にはまだ有利

我 TITCC を含む
 部分です。何も言
 うことは ありません
 大地震が起った
 時は 絶対 自衛隊
 が強いハヤ!

78 歳は 1人でしたか
 今年は 15人程で おしゃ
 します。事故の無い
 よう願いたい所ですが
 とんもんで しょうか。

78 歳は 大騒ぎでした。
 79 歳は どうなるでし
 ょうね。存か 回国の玄関
 高松には TITCC の支
 店が あります。利用の際は
 電話して下さい。どうせ
 なるしく。

7ページ前
 に戻る。